

令和2(2020)年度 宮城県

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) 養成研修



受講対象

地域支え合いに
関心のある方
どなたでも

**受講料
無料**

コロナ禍での支え合いの工夫を、事例をとおして紹介します

令和2年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修は、県内2つの地域で開催します。

■仙台

■北部地域

お近くの会場でご参加ください。

宮城県生活支援コーディネーター養成研修の目指すもの

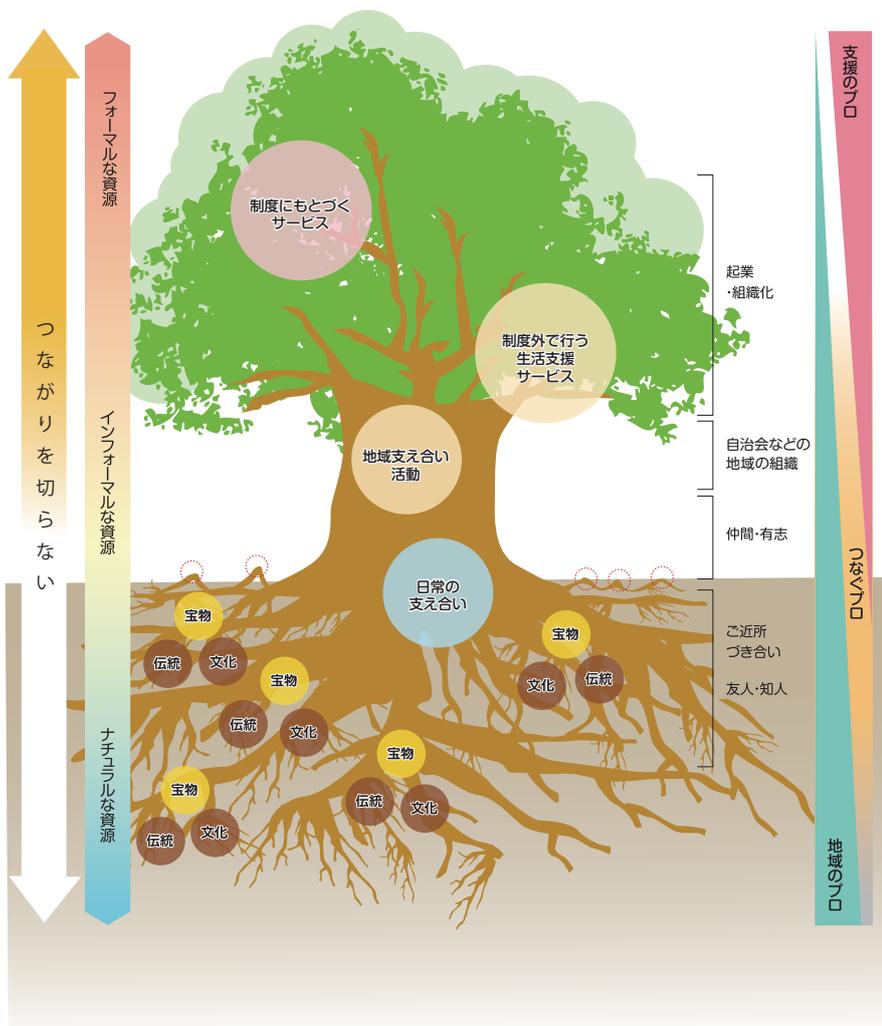
○医療・介護のサービスが充実しただけでは、365日地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護が必要になる前から地域で気かけ合い・見守り合い・支え合うことが重要です。

○そこで 2015 年に介護保険制度が改正され、新しい総合事業と生活支援体制整備事業のもと、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」と「協議体」という仕組みが誕生しました。

○介護保険サービスとご近所とのつながり（「地域づくりの木（下図）」における「日常の支え合い」や「地域支え合い活動」。これを宮城県では「地域のお宝」と呼ぶ）の両方をうまく組み合わせ、上手に地域で暮らす「地域づくり」を目指します。

○宮城県では、生活支援コーディネーターの任にあたる方に加え、生活支援コーディネーターと協働する住民や専門職、生活支援コーディネーター業務を受託する法人の管理者並びに専門職、生活支援サービスの体制整備（生活支援コーディネーターと協議体）を担当する行政職員などが一緒に受講して、チームで暮らしやすい体制づくりを目指す研修として開催しています。

「地域づくりの木」



どなたでも
受講できます

受講料無料

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）、協議体メンバー、地域の住民、自治会・町内会・行政区・まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、老人クラブなどの地縁組織、行政、地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、ボランティア・NPO団体などの関係者



令和2（2020）年度 宮城県生活支援コーディネーター養成研修 体系図

<基本研修>

受講必須

詳細はP4～7へ

<実践講座>

受講選択

研修1受講修了者対象

詳細はP6～9へ

地域での支え合いの理解

【研修1】 半日 →P4

初級研修

受講選択

・地域福祉業務未経験者
・各種国家資格未取得者

【研修1-2】 2日間 →P5

「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

受講必須

【研修2】 2日間 →P5

地域福祉コーディネート基礎・実践研修

受講選択

・地域福祉業務経験者
・専門職

【研修2-2】 2日間 →P6

地域福祉コーディネート中堅研修

受講必須

【研修3】 2日間 →P7

生活支援コーディネート基礎・実践研修

協議体と生活支援コーディネーターの理解

【講座1-1】 1日 →P6

地域支え合いの発見の仕方
～かかれた資源を見つけ出せ～

【講座1-2】 1日 →P6～7

地域支え合いの伝え方
～見つけた資源を伝えよう～

【講座1-3】 1日 →P7

地域支え合いの共有の仕方
～見つけた資源を知らせよう！
お宝発表会の持ち方～

受講選択

研修3受講修了者対象

【講座2-1】 1日 →P8

協議体運営の基礎

【講座2-2】 1日 →P8

協議体の多様な実践

【講座3】 1日 →P9

お宝を生かした地域づくり

【講座4】 1日 →P9

生活支援サービスの立ち上げと運営の方法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修や講座はオンライン開催等になる場合があります。その際はホームページにてご案内いたします。受講申込済の方には別途お知らせいたします。

生活支援コーディネーター養成研修 受講ガイド

生活支援コーディネーター養成研修は、2つの地域で開催します。
このご案内では以下のように、それぞれの会場名の前に記載の■印で色分けしています。

■ 仙台 ■ 北部地域

一連の研修・講座は、できるだけ同じ地域の会場でご参加ください。

受講要件

- 1 基本研修を受講する方は、【研修1】【研修2】【研修3】を順に受講してください。
- 2 地域福祉業務の未経験者や各種国家資格の未取得者が【研修2】を受講する際は、その前に必ず【研修1-2】を受講してください。
- 3 【研修1】の修了者は【講座1-1、1-2、1-3】を受講できます。
- 4 【研修3】の修了者は【講座2-1、2-2、3、4】を受講できます。
- 5 申し込みは先着順で、定員を満了し次第締め切らせていただきます。
(生活支援コーディネーターの任にあたる方で受講を急ぐ方は、別途ご相談ください)

おもな講師

大坂 純氏

東北こども福祉専門学院 副学院長

高橋 誠一氏

東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授

志水 田鶴子氏

仙台白百合女子大学 人間学部 准教授

池田 昌弘氏

全国コミュニティライフサポートセンター 理事長

住民のみなさんの 受講モデル

住民と
同じ研修を
受講できます

<基本研修>

支え合いを楽しく学べる研修！

今後の地域活動に役立てたいと思い、生活支援コーディネーター養成研修を受講しました。経験豊富な講師の方々に、わかりやすく、時にはユーモアをまじえて教えていただき、「地域づくりの木」などを楽しく学ぶことができました。

若い受講者にまじって、グループで活発に意見を出し合い、発表時にはほかのグループの考えや意見を聞くことができ、良い刺激を受けました。また、私が現在行っている活動が「地域のお宝」であり、支え合いになっていることも知ることができました。

これからも研修で学んだことを生かし、地域の皆さんと元気につながっていきたいと思います。

受講者の
声



佐藤洋子さん
石巻市住吉地区
民生・児童委員

【研修1】

初級研修

受講
必須

いまこそ支え合い！

ねらい

- 地域の支え合いとは？
- 生活支援コーディネーターと協議体とは？
- 誰もが暮らしやすい地域づくりをするには

専門職の みなさんの 受講モデル

受講モデルは一例です。体系図や受講要件をご参照のうえ、ご希望の研修を受講してください。

- 仙台会場 7月13日(月) フォレスト仙台
仙台市青葉区柏木1-2-45
- 登米会場 7月14日(火) ホテルサンシャイン佐沼
登米市迫町佐沼中江5-5-10
- 大崎会場 7月22日(水) 古川商工会議所
大崎市古川東町5-46

講師 池田 昌弘氏

研修時間・定員 (全会場ともに) 13:00～16:30
定員 〈仙台会場〉70人 〈登米・大崎会場〉50人

半日研修



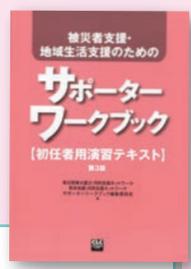
受講
選択

地域生活支援を知ろう

【研修1-2】

「地域福祉コーディネーター基礎・実践研修」
受講のための事前研修

2日間研修



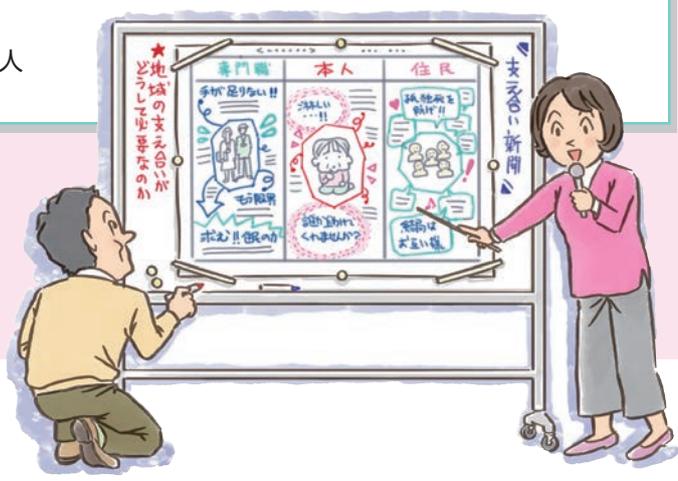
ねらい

- 地域生活支援とは？
- 地域のつながりと制度・サービスのバランスを学ぶ
- 地域で暮らし続けるためには

- 仙台会場 7月27日(月)～28日(火) フォレスト仙台 仙台市青葉区柏木1-2-45
- 登米会場 8月 3日(月)～ 4日(火) ホテルサンシャイン佐沼 登米市迫町佐沼中江5-5-10

講師 永坂 美晴 氏 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター推進員
岩城 和志 氏 兵庫県淡路市社会福祉協議会 事務局次長

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員50人



専門職と
同じ研修を
受講できます

受講
必須

地域福祉を学ぼう

【研修2】

「地域福祉コーディネーター基礎・実践研修」

2日間研修

ねらい

- 地域や地域福祉を知ろう
- 生活支援コーディネーターの活動の基礎を学ぶ
- 住民主体の地域づくりがわかる

- 仙台会場 8月27日(木)～28日(金) フォレスト仙台 仙台市青葉区柏木1-2-45
- 登米会場 9月 2日(水)～ 3日(木) ホテルサンシャイン佐沼 登米市迫町佐沼中江5-5-10

講師 〈仙台会場〉
藤井 博志 氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授
井岡 仁志 氏 LOCALISM LAB. (ローカリズム・ラボ) 代表
〈登米会場〉
永坂 美晴 氏 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター推進員
山本 信也 氏 兵庫県宝塚市社会福祉協議会 地域支援部長

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員50人

研修3へ

研修2-2へ

受講者の
声

20歳代 行政
住民を主体として支援を考えること、住民を信じること、住民に巻き込まれる行政であることなど、重要なことを学ぶ機会となった。

地域にある支え合い「地域のお宝」を発見し、それを関係者に伝え、住む人に広く知らせて共有していくことは、誰もが暮らしやすい地域づくりをするためにたいせつなことです。実践講座1-1、1-2、1-3では、その具体的な方法について、実践的に学びます。地域の皆さまにも、生活支援コーディネーターとともに、ぜひ受講いただきたい講座です。

地域のお宝を見つけよう

【講座1-1】

地域支え合いの発見の仕方

くくられた資源を見つけ出せ



1日研修

ねらい

- 「地域のお宝」とは？
- 地域のつながりのたどり方
- 「地域のお宝」の見つけ方

■ 仙台会場	8月11日(火) 宮城県管工工会館 仙台市青葉区本町3-5-22
■ 登米会場	8月25日(火) ホテルサンシャイン佐沼 登米市迫町佐沼中江5-5-10

講師

大坂 純 氏〈仙台会場〉
池田 昌弘 氏〈仙台会場、登米会場〉
高木 崇衣 氏〈登米会場〉
全国コミュニティライフサポートセンター 理事
木村 利浩 氏〈仙台会場、登米会場〉
全国コミュニティライフサポートセンター
地域支え合い推進センター 主幹

研修時間・定員

〈仙台会場〉 9:30～16:30 定員50人
〈登米会場〉 10:00～16:00 定員50人

地域のお宝を伝えよう

【講座1-2】

地域支え合いの伝え方

くくつけた資源を伝えよう

1日研修

※講座1-1、1-2、1-3は、実践講座となります。

受講 選択

地域福祉の展開

地域福祉業務経験者
および専門職対象

【研修2-2】

地域福祉コーディネート中堅研修

2日間研修

ねらい

- 事例をとおして地域福祉の理解を深める
- 協議の場のつくり方と進め方を学ぶ
- 住民・専門職が協働する体制づくりがわかる

■ 仙台会場 9月16日(水)～17日(木)
仙都会館 仙台市青葉区中央2-2-10

講師 藤井 博志 氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授

浜上 章 氏 宮城県サポートセンター支援事務所 アドバイザー
兵庫県川西市社会福祉協議会 桜小地区福祉委員会 委員長

永坂 美晴 氏 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉課
生活支援コーディネーター推進員

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員50人



ねらい

- 発表会を通じて「地域のお宝」を共有しよう
- 「お宝発表会」に参加してみよう
- 自分の地域で発表会を開催するには

■ 登米会場 1月27日(水)

豊里公民館
登米市豊里町小口前80

講師

大坂 純氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

10:00～16:00 定員50人



【講座1-3】

地域支え合いの共有の仕方

「見つけた資源を知らせよう！お宝発表会の持ち方」

1日研修

地域のお宝をみんなのものにお宝でつながろう

ねらい

- 「地域のお宝」の価値と魅力を伝えるには？
- もっと伝わる！写真、映像の生かし方
- 伝え方、広め方で「地域のお宝」が輝く

■ 登米会場 9月25日(金)

午後は地域の
お宝探し講座を
します

ホテルサンシャイン佐沼
登米市迫町佐沼中江5-5-10

講師

池田 昌弘氏
全国コミュニティライフサポートセンター
スタッフ

研修時間・定員

10:00～16:00 定員50人

受講者の声

30歳代 社会福祉協議会/
生活支援コーディネーター

地域には隠れているお宝がたくさんある。グループワークをとおして地域住民の考えから出たお宝を知ることができました。

ねらい

- 地域で生活支援体制整備事業を展開するには
- 「あるもの探し」からはじめる地域づくりを学ぶ
- 生活支援コーディネーターと協議体の機能・役割がわかる

■ 仙台会場 10月 1日(木)～ 2日(金)

勝山公園カンファレンスルーム
仙台市青葉区上杉5-3-36

■ 登米会場 10月29日(木)～30日(金)

ホテルサンシャイン佐沼
登米市迫町佐沼中江5-5-10

講師

大坂 純氏 高橋 誠一氏 志水 田鶴子氏 池田 昌弘氏

研修時間・定員

(両日)9:30～16:30 定員50人

講座2-1以降の
受講が
できます



受講者の声

40歳代 地域住民

生活支援コーディネーターの役割や立ち位置など、いままでよくわからなかったことを丁寧に教えていただいた。

修了証書

宮城県では、「研修3」までの受講をもって、生活支援コーディネーター養成研修の修了者として。研修3まで修了された方には、修了証書を発行します。

【研修3】

生活支援コーディネーター基礎を学ぼう

受講必須

生活支援コーディネーターの基礎を学ぼう

2日間研修

<実践講座>

実践講座は、養成研修（基本研修）の修了段階に応じて、具体的な活動をより実践的に、あるいは体験的に学ぶものです。

講座1-1、1-2、1-3は、P6～7をご覧ください。

ねらい

- 協議体とは何か？
- 地域が元気になる「協議の場」を学ぶ
- 協議体の作り方と進め方がわかる



■ 仙台会場

10月23日(金)

エスポールみやぎ
仙台市宮城野区幸町4-5-1

講師

齋藤 理恵 氏
福島県福島市飯坂南地域包括支援センター 所長

高橋 誠一 氏

池田 昌弘 氏

実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員

9:30～16:30 定員50人

受講者の
声

50歳代 地域包括支援センター/
生活支援コーディネーター

協議体は日常のさりげないところから。生活支援コーディネーターと住民は、お互いの活動を認め合って一緒に考えることがたいせつだとあった。

【講座2-1】

協議体運営の基礎

地域の仲間で語り合おう

研修3受講修了者対象

1日研修

ねらい

- 協議体の具体的な取り組みを学ぶ
- 地域の人と場をつなぐ意義
- 多様な協議体とともに築く地域づくり



■ 仙台会場

11月 6日(金)

宮城県管工事会館 仙台市青葉区本町3-5-22

講師

岩城 和志 氏

兵庫県淡路市社会福祉協議会 事務局次長

岡本 圭一郎 氏

角田市社会福祉協議会 事務局次長

志水 田鶴子 氏

池田 昌弘 氏

研修時間・定員

9:30～16:30 定員50人

【講座2-2】

協議体の多様な実践

NEW!

1日研修



研修・講座の受講後は



ねらい

- お宝探しの次のステップを考える
- お宝の共有とつながりの発展を学ぶ
- 多世代がつながる地域づくり



宮城県の市町村の
ご要望を受けて
できた講座です

NEW!

【講座3】お宝を生かした地域づくり

地域のお宝を育てよう

1日研修

■ 仙台会場

11月27日(金)

勝山公園カンファレンスルーム
仙台市青葉区上杉5-3-36

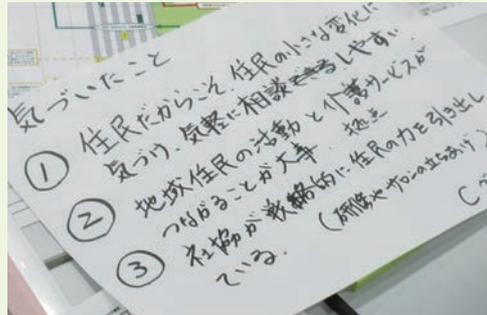
講師 高橋 誠一氏
池田 昌弘氏
実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員

9:30~16:30 定員50人

ねらい

- つながりを切らない生活支援サービスとは何か？
- 実践事例から学ぶ
- サービスをつくる際に配慮すべきことがわかる



生活支援サービスの 立ち上げと運営の方法

生活支援サービスを学ぼう

1日研修

■ 仙台会場 12月10日(木) フォレスト仙台
仙台市青葉区柏木1-2-45

講師 眞弓 洋一氏
滋賀県東近江市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長
志水 田鶴子氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員 9:30~16:30 定員50人

県内各地で 地域のお宝探しと発表会が開かれています！

地域のお宝探し講座

講座では、参加されたみなさんから
ふだんの暮らしぶりを教えてもらいます！



おすそ
分け



近所での
お茶飲み



仲間との
散歩



介護予防
体操や
サロン

ふだんの暮らしのなかの
つながりから、お互いを
気にかける関係が生まれ、
見守りやちょっとした手
助けなどが自然に行われ
ます。
これらを「地域のお宝」
と呼びます。

まずは、新しい活動やサービスをつくる前に
暮らしのなかにあるつながりの場など
すでにあるもの・できていることに目を向け、
そのつながりや支え合いが、
安心・安全に暮らせる地域の基盤となっている
ことをみんなで共有します。

③ 「地域のお宝」を
見える化・見せる化
する

広報紙
パンフレット



④ み～んなで
共有する

地域のお宝発表会



ふだんの暮らしのなかのつながりは「地域づくりの木」の根っこ部分にあたります。「地域のお宝探しと発表会」をとおして根っこのたいせつさをみんなで共有します。根っこをたいせつにするということは、幹・枝葉が健やかに育つための、土づくりとも言えます！
こうしたつながりを途切らせず、そのたいせつさを伝えみんなで育くむことが、支え合う地域づくりの第一歩です。

地域づくりの木 (P2 参照)

フォーマルな資源
インフォーマルな資源
ナチュラルな資源

過去に開催した大和町および山元町での実践プロセスを
YouTube で見るができます



宮城県大和町発！
「宝物さがしから発表会までの
運営手法」を学ぶ！
「大和町 CLC」で検索



宮城県山元町発！
「宝物探しからはじめる
地域づくり実践ガイド」
「山元町 CLC」で検索



地域の魅力大発見 ～おらほのお宝発表会～



令和元年度の発表会で紹介した「地域のお宝」



館山わんこクラブ (気仙沼市)

館山2区に住む80歳代の女性5～6人と犬1匹が、毎日散歩をしています。時間になると、自然とみんなが集まり散歩が始まります。会話の内容はローカルな話題が中心。道行く車からも声をかけられます。

仲間との会話のなかで、自然な見守りができています。ひとりが体調不良になり、介護保険を利用するようになったことも話題にのぼりました。「気かけ・声かけがたいせつ」です。

散歩しながらゴミ拾いや片づけなどの環境美化もしています。「気がついた時にやるのがポイント」とのこと。散歩のあとは、楽しくおいしくお茶飲み。時には民生・児童委員も顔を出します。

歌津海友会 (南三陸町)

平成19年に設立した、歌津地区の元船員が集まる会。

以前は「出漁会」という、留守を守る家族が大漁祈願や海難者の供養をする会がありましたが、船員をしていた時はそのことも知りませんでした。「出漁会」がなくなり、今度は自分たち元船員で海難者の供養をしよう、地域のことが何もわからないので地域参加もしたい。親睦を図り楽しみを持つことも必要だと感じ、海友会を立ち上げました。

お祭りがあれば浜焼きを頼まれたり、小学生が海に親しむ授業の時には地引網体験を行ったりと、地域で活動する機会も増えました。

健康のために始めたグラウンドゴルフは会員の日課になり、男のつどいならではの麻雀や将棋なども楽しんでいきます。



おたからのわ「結」(石巻市)

おたからのわ「結」で活動している佐藤洋子さんは、一般社団法人「りぷらす」が石巻市の健康寿命を延ばすことを目的として取り組んでいる「おたがいカラダづくりサポート養成講座」を受講し、石巻地区のリーダーとして活動しています。

主な活動としては健康体操や歌をうたうことですが、体操のあとは必ずお茶会を開きます。「みんなで集まっておしゃべりなどお茶こした方が、一番健康でいられる。心も血圧も安定する」と話し、参加する人たちが笑顔でいられる時間をたいせつに活動しています。

男のつどい場 in 寺酒屋 (登米市)

登米地区の協議体に参加する各種団体の男性を中心に、地域の寺院で開いたつどい場です。

協議体で検討された課題として、男性の社会参加や地区団体の横のつながりが少ないことがあげられたため、男のつどい場を「連携強化、交流の場」にすることを目標として開催しました。

協議体のメンバーで、民生・児童委員でもあるお寺の住職が会場を提供し、参加者を募りました。買いもの会場準備も下さりえもみんなで行い、竹でつくったコップで乾杯。にぎやかで楽しいつどいになりました。地区内の団体とも交流が図られ、地域や文化のつながりが広がりました。



これからの地域づくりのポイント

発想の大転換

ーサービスづくりではなく
地域づくりへー

画一的なサービス整備から、
多様な地域づくりへという
発想の大転換が
地域を元気にします



社会参加による 介護予防へ

社会参加による
介護予防へと
考え方を転換しましょう



メンバーをお客さんにしない「協議体」づくりを

地域で暮らす
多様な人びとが協議できる場です

社会資源は 開発より 発見

暮らしの中にある
支え合いを見つけ、
つないでいくことが重要です



生活支援コーディネーターは 後ろ盾があつてこそ 生きる

みんなとつながる
みんなをつなげる
コーディネーターを目指しましょう



宮城県では地域包括ケアの実現に向けて、2015年10月に「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」を設立し、地域の支え合いや生活支援の充実にに向けた市町村の取り組みを支援しています。

